

講師 プロフィール

かさい しん すけ
笠井信輔

フリーアナウンサー

悪性リンパ腫
ステージ4からの生還

1963年、東京都世田谷区に生まれ、1987年に早稲田大学を卒業。同年、フジテレビにアナウンサーとして入社。

「とくダネ!」のキャスターを20年間務め、東日本大震災の取材では現地に1か月ほど滞在。

2019年9月フジテレビを退社しフリーアナウンサーに転身。

しかし、その直後「悪性リンパ腫」という血液のがんが判明。4か月半の入院、抗がん剤治療で「完全寛解」となり仕事に復帰。

「がん」の知識を普及するための活動にも力を入れ、現在はテレビ、ラジオへの出演、エッセイの出版など、幅広く活躍している。

9月9日(木)

たき むら まさ はる
滝村雅晴

日本で唯一のパパ料理研究家

家族で食事ができることは
当たり前ではない

料理を通して、男性の家事参画、働き方改革を推進する、日本で唯一のパパ料理研究家。

最愛の長女が難病により8歳で天国に旅立つ。

現在、全国の料理教室や講演で「家族で食卓を囲む回数(有限)」であることを伝えている。

自宅で学べるオンラインの料理塾毎週末開催。

NHK「あさイチ」「きょうの料理」「まいにちスナック」等出演。

著書「ママと子どもに作ってあげたいパパごはん」マガジンハウス、「パパ料理のススメ」赤ちゃんとママ社等。

ブログ「ビストロパパ〜パパ料理のススメ〜」は15年以上毎日更新中。

YouTube「ビストロパパCHANNEL」運営。(株)ビストロパパ代表取締役。

大正大学 客員教授。農林水産省 食育推進会議 専門委員。

9月16日(木)

しづ さわ けん
渋澤 健

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役

渋沢栄一の玄孫が考える
“アフター・コロナ”

複数の外資系金融機関およびヘッジファンドでマーケット業務に携わり、2001年にシブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業し代表取締役に就任。

2007年にコムズ株式会社(現コムズ投信株式会社)を創業、2008年に会長に就任。

経済同友会幹事およびアフリカ開発支援戦略PT副委員長、UNDP(国連開発計画)SDG Impact Steering Group委員、東京大学総長室アドバイザー、成蹊大学客員教授などを務める。

《主な著書》「渋沢栄一100の訓言」、「SDGs投資」、「渋沢栄一の折れない心をつくる33の教え」、「超約版 論語と算盤」、他。

9月30日(木)

さ く ま
佐久間レイ

声優・歌手・劇作家

朗読劇や歌を交えた
心のストレッチ

テレビアニメ「それいけ!アンパンマン」のバタコさんや、「魔女の宅急便」ジジ、「NHKきょうの料理ビギナーズ」高木ハツ江の声などでもおなじみの声優で、歌手・脚本家でもある。

アニメーションや洋画の吹き替え、テレビコマーシャル、番組ナレーションの他、命や人間の心をテーマにした物語を執筆し、自ら「語る」活動を展開、全国で好評を博している。

絵本の執筆や文章校正、作詞など執筆活動も多い。

また、私生活では娘を持つシングルマザーである。

育児講演、いじめ、生き方など、講演内容は多岐に渡り、大学や小中学生への心の授業も担当している。声優や作家という職業の垣根を超えて、常に進化し続けている。

10月14日(木)

はやし まり こ
林真理子

作家

仕事を通じた様々な出会い

1954年、山梨県生まれ。

日本大学芸術学部文芸学科を卒業後、コピーライターを経て、1982年、エッセイ集「ルンルンを買っておうちに帰ろう」を出版。

1984年、処女小説「星影のステラ」が直木賞候補に選出されたことを機に、執筆業に専念。

『最終便に間に合えば』『京都まで』により第94回直木賞を受賞後、『白蓮れんれん』では第8回柴田錬三郎賞、『みんなの秘密』により第32回吉川英治文学賞を受賞。

2000年には直木賞選考委員に就任。その他にも数々の文学賞の選考委員を務める。

その後も第20回島清恋愛文学賞、第68回菊池寛賞などを受賞。

2011年にはレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ、2018年に紫綬褒章を受章した。

また2020年、「同一雑誌におけるエッセイの最多掲載回数」としてギネス世界記録™に認定されている。

10月28日(木)

むら ふし しげ のぶ
室伏重信

アジアの鉄人

室伏広治の父に学ぶ
「人間の可能性」

1945年生まれ、1968年日本大学経済学部経済学科卒。1968年に大昭和製紙株式会社入社。

1977年日本大学文理学部三島講師、1980年中京大学体育学部講師、助教授を経て1989年教授、現在は中京大学名誉教授。

ハンマー投選手として、日本歴代2位の記録を持ち、様々な大会に出場した。

日本選手権で10連覇、合計12回優勝し、アジア大会では第5回バンコク大会から第10回ソウル大会まで6回連続出場し、第6回大会以降は全て優勝している。

オリンピックには1972年ミュンヘンから1976年モントリオール、1980年モスクワ、1984年ロサンゼルスと4回連続出場を果たした。

1972年、アメリカでヘルムス賞を受賞。1983年に文部大臣スポーツ功労者表彰として表彰され、1986年には総理大臣顕彰を受賞。

現在は、講演活動などでも活躍している。

11月8日(日)

